



農家の土 基礎講座

みんなで挑む「むら強靱化」

公共事業を待っていても、予算も順番も回ってこないなら、
「むらのインフラ」は、みんなで整備する。
自分たちで手がけると断然愛着もわき、絆も強まり、技術も伝わり、
そこには「大好きなむら」が生まれてくる。
「多面的」や「中山間」など、使い勝手のいい事業もいろいろ出てきた。
現代版の普請。
農家・農村には、土木を自給する力もある。